

令和7年度第10回 太田市1%まちづくり会議 議事概要

会議の名称	令和7年度第10回1%まちづくり会議
開催日時	令和7年12月25日(木) 18:00~19:10
開催場所	太田市役所 5階 5A 会議室
出席委員 (代表氏名)	1%まちづくり会議 佐藤 広大 委員長 他11名

1. 開会

2. 挨拶

佐藤委員長より挨拶

3. 協議事項

(1) 10次募集審査について(申請1件 No.132 ※5次募集の再提案)

No.132 ごみステーション整備事業(沖之郷町)

10万円未満のため、事務局採択案件

委員: 2mの単管パイプを10本買うとなっている。それを1.5mと1.3mに切ると思うが、3mにすれば1回切ると1.5mになり、なおかつ、多少安くなる。手間も少し減ると思う。

副委員長: 事務局側からアドバイスとして話をすればいいと思う。細かいことよりも、前に進めるような後押しをしていきませんか。

委員: 前回の計画では、道路上への設置が問題になった。道路管理者の許可が出なかった。

事務局: 地区が道路整備課に再度相談に行ったが、道路上への設置は許可もできないし、だめという通知も書面で回答することはできないと言われたそう。でも、やはりこのままにしておけないということで、道路上に設置する分は、清掃センターと相談のうえ、1%を利用せず地区の自己責任ということでやむを得ず整備したとのこと。何か問題があればすぐ片付けるとのこと。

協議結果: 10次募集【採択 1件】No.132(※5次募集の再提案)

【再提案 0件】

【不採択 0件】

※詳細は別紙のとおり

4. その他

(1) お祭等の判断基準について

事務局: 12月より全地区の区長会へ新年度募集の説明に行っているが、単独行政区の祭について、区長からの関心が高く、問い合わせがある。採択基準だけでは宗教活動などあいまいな部

分があり、今後は行政センターでも受付を始めるので、計画書を受領する際、統一した判断基準があると説明しやすいため、判断基準の案を作成した。

今回のパンフレットには掲載が間に合わなかったが、今後、区長会への周知や、HP での周知など考えたい。

委員:判断基準案は、事務局でよく調べてあって、一読して非常に理解しやすいと思った。特に意見はないと思う。事務局が不安になるのは、おそらく宗教的活動のところだよね。あと不安な点は？

事務局:備品の購入について、原則では、お祭り関係備品は原則対象としないとなっており、お祭りについて言えば、使用頻度が年数回以下ということで、原則で考えれば、対象外になると思うが、過去には、延長コードなど認めてきた。そのあたり、備品については、事務局査定の段階で対象外としてもいいのか。その辺りご意見をいただければ。

委員:新規案件は事務局の裁量だから、全くだと思う。ただ、今言ったように、使用品度が少ないものはだめというのが大原則としてある。そういう、どちらかわからないけど結構必要だよねと、そこが「原則として」という言葉じゃないかなと思うので、自信を持って事務局で査定していいんじゃないか。それで、不安になったことをこの会議で説明して、みんなが認めてくれればいいんじゃない。

委員:備品のレンタルは対象だが、今まで見ていると、レンタルをすべて業者任せという内容が多く、地区の皆さんが自分たちでやっているというのが見当たらない。1%の目的である、皆さんが汗かくというのがなく、その負担ばかり 1%まちづくりで出すようになっている。そういうのをどう判断したらいいか疑問に思う。

委員:私も以前話したが、レンタルの場合は補助率 50%以内というのをやめて、その分を備品代にまわすほうがいいと思う。ただ、今回の採択基準の改定では 50%と決まったから、来年の改定の際に、皆さんがどう考えるのかと思っている。

(2) 成果発表会について

委員:参加者が今年も少なかった。

委員:区長会とか市会議員があまり来なかった。それが大半を占めてる。

委員:今までは発表団体の皆さんも応援に来ていた。

委員:発表団体を 3 団体じゃなく、少し増やせば、参加者が増えるんじゃないか。

委員:うちの地区の公園が草ぼうぼうになるので、区長代理に 1%を利用してみたらと話したら、それは何？と言われた。非常に残念。知らないというのは、PR がちょっと伝わっていない。

委員:区長会長だったときには、行事があったら必ず出てと毎回言っていた。新田地区は徹底し、結構参加が多かった。自分の地区が発表する場合は、必ず行つてと。どういうメンバーでもいいからという話をいつもした。区長とか区長会長の姿勢によって大分変わると思う。だから、こういう行事があったら、事務局の方から、出てくださいと話をしてもらえばいい。

副委員長:来年は私たちも声かけなどをやりましょう。以前は、活動のジャンパーを着た人たちが揃

って来ていたなあと思う。ああいう状態にまた戻れるように、皆さんで。

委員：菰川地区は申請件数が一番多いが、残念ながら参加者が少なかった。もっと来てくれればよかったが。本当に申し訳ないと思う。

委員：地区の予定があったり、行事が重なったりというのが、実際に周りの声であった。区長たちもお祭の遠征に行ったりしていた。運転できる人に乗り合わせて行くので、参加者が結構減ったのかと感じた。

委員：来年はぜひ盛り上げましょう。実態として上に立つ人の意欲を、啓蒙するとかお願いするとか、それをどういうふうに具体的にやるかということ。だから、今日もいくつか意見が出たが、来年に向けて、今年の経験を踏まえて、まず我々がアプローチとか、どういう人たちをこうしようとか出てくると、もう少し良くなっていくんじゃないか。

委員：今、九合の居場所づくりで麻雀をやっているところが4か所ある。西矢島町・小舞木町・新島町・新井町。九合地区の麻雀大会があり、当初は各地区に雀卓3台で十分だと思ったら10数台の要望があった。調べたら、初心者で教わりたいという人たちが10数人いた。行政センターに入らないので、やむを得ずその人たちを除いて、経験のある人たちで行政センターでやったが大変好評だった。大会後に、始めたいという人たちから、講師や道具の相談があったので、区長さんと相談して1%事業を展開したらどうかと話した。そういう意味で、前向きにやるような何かを提言すると、1%事業ももう少し良くなってくるんじゃないかと感じた。今年の経験で出た意見を、来年は私たちが率先して、先頭に立って声かけ運動をするとか、そういう活動をする。そんなことを提案したい。

委員：うちも年間行事を昔のとおりやってる。それはそれでいいが、その中に新しいものも取り入れていく。若い人に参加してもらうにはどんなことがいいかと思って、eスポーツを大人と子供が一緒にするとか。それを1%で道具を準備して。そうすると交流ができてくるし、どんどん変えていって、どうやったらもっとみんなが興味持ってくれるかというところがすごく大切。ただ実際やろうとしたら、これがもう大変で。

委員：いずれにしても、やっぱり頑張ってやっていくしかないんじゃないか。飛び抜けていい方策とかなかなかない。まずは継続ですね。

5. 閉会